

## 二次心肺蘇生法コースインストラクター養成ワークショップの開発と評価の研究について

この度海老名総合病院救命救急センターでは入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた研究を実施させていただいております。

この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。またプライバシー保護について法令等を遵守し研究を行わせて頂きます。

試料・情報について、本研究への利用をのぞまれない場合は以下担当医師にご連絡ください。

### 1. 研究目的

本研究の目的は、新たに **ICLS** ワークショップをデザインし、実行・評価することで、**off-the-job training** の質を高めるために必要な要素を探究する。

### 2. 研究方法

研究対象：海老名総合病院 **ICLS** ワークショップに参加する受講生 8 名と、アシスタントインストラクター約 5 名

実施期間：2023 年 1 月 20 日

研究方法：コース分析と開発に関しては、主に文献より情報を抽出することで行われる。

開発されたコースを実行に移し、その評価には、**Changiz & Yousefy (2006)** が開発した、**SPICES** モデルに基づいたコース評価ツールをもとに、今回開発されたコース用に修正を加えたものを使用する。**SPICES** モデルは、

- (1) 学習者中心 (Student-centred)
- (2) 問題解決型 (Problem-based)
- (3) 統合された (Integrated)
- (4) 地域密着型 (Community-based)
- (5) 選択できる (Elective)
- (6) 系統的に設計された (Systematic designed)

の頭文字をとったもので、伝統的なコースの特徴である、教師中心、知識獲得型、学問分野別、病院中心、統一規格、そして徒弟制度と対になる因子として、1984 年に **Harden** が提唱した。現在においても様々な形で **SPICES** モデルを用いた教育環境評価が行われている (**Changiz & Yousefy 2006**)。本研究でのコース評価に当たっては、**SPICES** モデル 6 項目のうち、**E: elective** 学習内容を選択できるかどうかに関しては、1 日コースの開発においてはそぐわないと判断し、採用しないこととした。また、**C: community-based** 地域密着型かどうかに関しても、**ICLS** コースの目的が、病院内での突然の心停止対応であるため、今回のコース評価には適さないと判断し、除外することとした。

**Changiz & Yousefy (2006)** は、**SPICES** モデルのそれぞれの項目の評価に必要な観点を 5 つ提示した

- (1) 教育メソッド

- (2) 学習リソース
- (3) 学生の評価
- (4) コースマネジメントと組織秩序
- (5) 物理的環境

これらのうち、(3) 学生の評価は、今回は **off-the-job training** であるため、除外した。

従って、**SPICES** モデルの 6 項目のうち 4 項目、コース評価に必要な観点 5 つのうち 4 つを元に、質問項目が作成された。

受講生・アシスタントインストラクターから収集されるデータ

原則質問紙法、匿名方式であるが、現在のポジション (医師・看護師・救急救命士など) と経験年数、性別は答えていただくこととする。そして、質問紙法による評価を収集する (別紙参照)。

### 3. 試料・情報

#### 4. 外部への試料・情報の提供

個人が特定できる情報(氏名、住所、生年月日など)は除外した形でデータ集積を行います。

データの紛失・改ざん・漏洩などを防ぐためデータベースへのアクセスは **ID・パスワード** 等、適切に管理しています。

収集した匿名化データは海外含む学術研究施設に提供されますが、診療の質評価および研究目的以外には使用致しません。研究成果は個人が特定できないような形で発表を行います。

#### 5. 本研究責任者およびお問合せ先

本研究にご質問がありましたら下記の連絡先までお問合せください。お申し出によりそれ以降の分析から個人データを除外することは可能ですが、お申し出時点より前の分析および発表済の研究結果からの削除は出来ない場合がありますのでご承知くださいますようお願い致します。

施設名 : 海老名総合病院

住所 : 神奈川県海老名市中央 4 丁目 16-1

電話 : 046-233-1311

研究責任者: 救命救急センター 大坪 里織